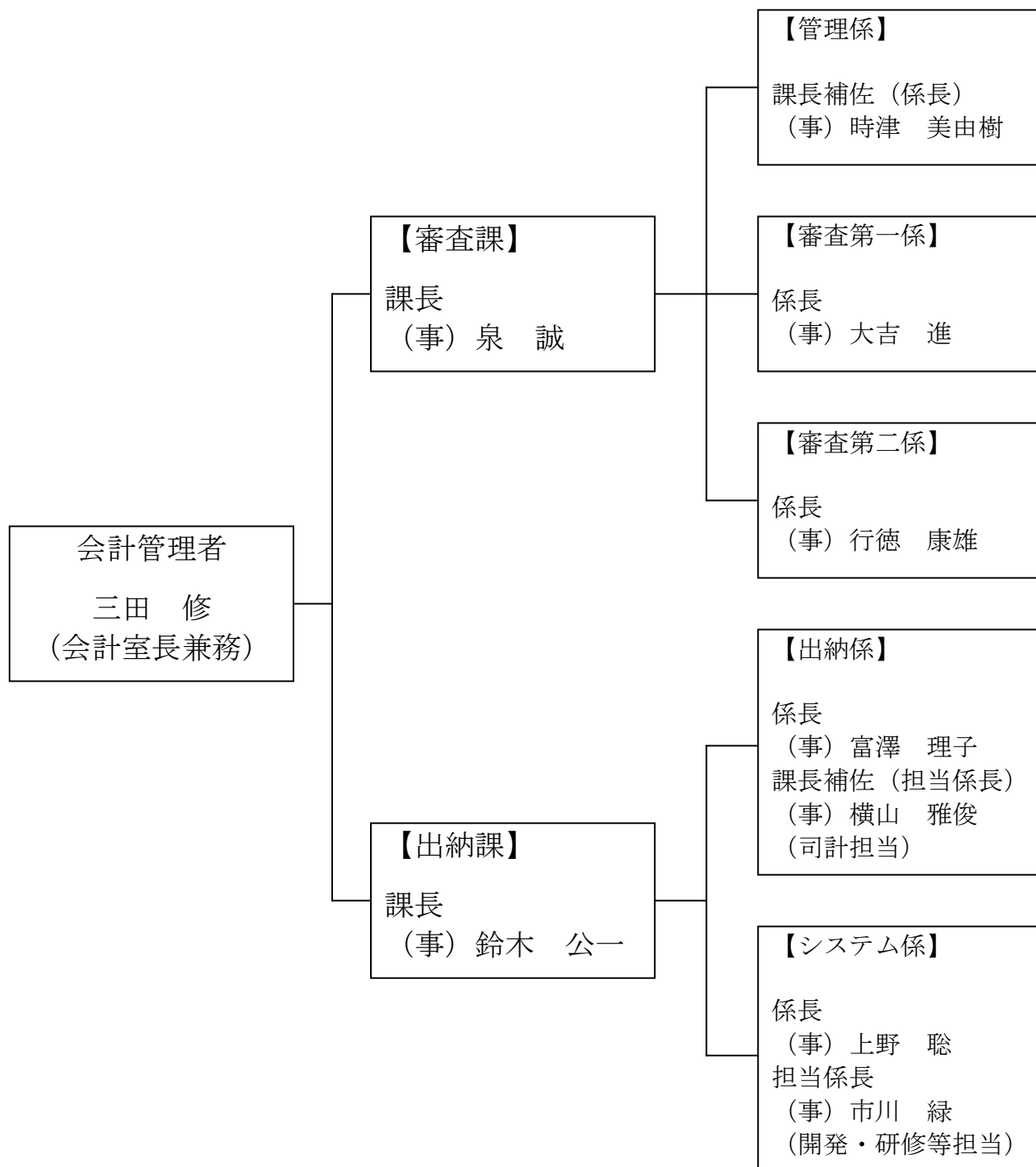


機構及び事務分掌

平成21年6月

会 計 室

会計室機構図
(平成21年6月3日現在)



会計室事務分掌

審 査 課

- (1) 有価証券（公有財産または基金に属するものを含む。以下同じ。）の出納及び保管に関すること。
- (2) 物品の出納及び保管（使用中の物品に係る保管を除く。以下同じ。）に関すること。
- (3) 財産の記録管理に関すること。
- (4) 支出負担行為の確認に関すること。
- (5) 支出命令の審査に関すること。
- (6) 収入証紙の出納及び保管に関すること。
- (7) 指定金融機関，指定代理金融機関及び収納代理金融機関に関すること。
- (8) 会計事務の改善に関すること。
- (9) 室の危機管理に関すること。
- (10) 室の庶務に関すること。
- (11) 他の課の主管に属しないこと。

出 納 課

- (1) 現金（現金に代えて納付される証券及び基金に属する現金を含む。）の出納及び保管に関すること。
- (2) 小切手の振出しに関すること。
- (3) 現金の記録管理に関すること。
- (4) 決算の調製に関すること。
- (5) 支払資金の調整に関すること。
- (6) 証書類の整理及び保管に関すること。
- (7) 財務会計システムの管理及び運用に関すること。
- (8) 財務会計システムの開発に関すること。
- (9) 財務会計システムの研修に関すること。

平成 21 年 度

予 算 説 明 書

会 計 室

目 次

	頁
平成21年度 一般会計歳入予算説明	1
平成21年度 一般会計歳出予算説明	2

平成21年度 一般会計歳入予算説明

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引増△減	説 明	説明書 対照頁
22款 諸収入	千円 264,239	千円 191,395	千円 72,844		75
2項 市預金利子	54,300	56,800	△ 2,500		75
1目 市預金利子	54,300	56,800	△ 2,500		75
1節 預金利子	54,300	56,800	△ 2,500		75
3項 貸付金元利収入	30	30	0		75
1目 総務費貸付金元利収入	30	30	0		75
4節 収入証紙収納資金 貸付金元利収入	30	30	0		76
5項 雑入	209,909	134,565	75,344		80
1目 総務費雑入	209,909	134,540	75,369		80
1節 広告料収入	851	851	0		80
13節 共通物品振替収入	209,058	133,689	75,369		81
14目 雑入	0	25	△ 25		87
2節 社会保険料納付金	0	25	△ 25		87
歳入合計	264,239	191,395	72,844		

平成 2 1 年度 一般会計歳出予算説明

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引増△減	説 明	説明書 対照頁
2 款 総務費	千円 1,602,452	千円 1,581,616	千円 20,836		109
4 項 会計管理費	1,602,452	1,581,616	20,836	人件費	109
1 目 会計管理費	1,602,452	1,581,616	20,836	832,124	109
				一般職 91人	
				短時間勤務職員 3人	
				公金取扱経費 296,664	
				財務会計システム 運用事業費 251,631	
				共通物品購入費 209,909	
				運営費 12,124	
歳 出 合 計	1,602,452	1,581,616	20,836		

平成21年度 会計室運営方針

基本目標

- 1 本市の会計事務を統括する会計管理者の補助組織として、現金、有価証券及び物品の出納・保管、決算の調製等、多岐にわたる担当事務を法令等に基づき、適正かつ公正に執行します。
- 2 財務会計システムについて、円滑な稼働の確保と使いやすさの向上を図ります。
- 3 社会経済情勢の変化に伴う、法令等の改正や制度改正に的確に対応します。
- 4 収支見込みの精度向上と金融情勢に応じた資金運用に引き続き取り組みます。
- 5 業務に関する知識や情報を共有し、市民生活や社会状況を見据えて行動する、指導力、課題解決能力の高い人材を育成します。

現状や課題

【適正かつ効率的な会計経理事務の推進】

- ・市民ニーズや社会経済情勢の変化に的確に対応し、情報通信技術を活用した適正かつ効率的な執行が求められています。
- ・会計室には、会計事務を着実に処理するだけでなく、会計室の持つノウハウをもって、会計経理事務に関する様々な課題を解決することを期待されています。

【厳しい社会経済情勢への対応】

- ・世界的な金融危機に端を発した極めて厳しい社会経済状況を受け、市内の経済状況も悪化しており、特に、中小企業は資金繰りなどに苦慮しています。
- ・昨年11月から緊急経済対策として、公共工事代金の支払期限を短縮（法定40日を20日）していますが、引き続き支払い事務の迅速化に取り組む必要があります。
- ・本市公金の保管・運用にあたっては、今後の金融政策・金融動向を見極めつつ、より安全性を重視した効率的な資金管理を行うことが必要です。

会計室運営の考え方

1 会計事務の適正公正な執行の確保と時代即応性

- ・市政情報や財政状況について情報の共有を図り、会計室としての対応方針を迅速に決定します。特に、危機的財政状況への対応として、各局と連携して予算執行上の工夫を図ります。
- ・会計室全職員が「一人1改善」に取り組みます。
- ・会計室を取り巻く課題、公会計制度などについても、引き続き検討を進めます。

2 会計経理事務に精通した人材の育成

- ・業務に関する知識や情報を共有し、市民生活や社会状況を見据えて行動する、指導力、課題解決能力の高い人材を育成します。

平成21年度の重点推進施策

【適正かつ効率的な会計経理事務の推進】

1 会計経理事務の適正かつ公正な執行のための支援

- 会計経理事務（財務会計システム操作を含む）に関する研修の実施
会計経理事務の経験が浅い職員を対象に、同事務の基礎知識についての研修を行います。
- 出納検査の実施
各局の出納員等の会計事務について検査・指導を行い、その結果と会計事務改善に関する情報を各区局に提供します。
- 会計経理事務の改善提案
支出命令書の審査等を通じて気づいた予算執行上改善すべき点について、出納検査結果と同時期に提案します。

2 情報発信の充実と人材育成

- ホームページやYCANを利用した情報発信の充実
- OJTを通じて業務改善に積極的に取り組む会計室職員を育成
- 会計経理事務に精通した区局職員の育成
日常的な業務や相談をとおり、知識や経験を積極的に提供します。

3 財務会計システムの円滑な稼働の確保と使いやすさの向上

- 操作研修等の実施及びシステム改善
- 財務会計システムの円滑な稼働の確保

【厳しい社会経済情勢への対応】

4 支払の迅速化と支払遅延の防止

- ・公共工事代金等の支払期限の短縮を継続します。
- ・債権者への支払の遅延を防止します。

5 効率的な資金管理

歳計現金の支払資金（＝普通預金残高）の平均残高を前年度の平均残高（33.5億円）以下に抑えます。

6 金融情勢に対応した資金運用

歳計現金等の支払資金分を含む運用利回りを、無担保コール翌日物※の誘導目標（0.1%）と同水準を確保します。

（※無担保コール翌日物＝金融機関同士が資金繰りのために担保なしで翌日まで借りる際のレート）